



週報

入間ロータリークラブ

宮崎会長テーマ

「楽しくやろう・ロータリー」(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

27号 3370回例会 2025年 1月 23(木)

<ビジター・ゲスト>

入間市の文化遺産をいかす会

宮越 義彦 様
平田 和雄 様



東京紀尾井町ロータリークラブ

浅見 亨 様



実はご先祖様が入間にご縁があり、一度ルーツを知りたくてお邪魔しました。今日お話があります黒須銀行の修復にも貢献したいと思っています。これからもよろしくお願ひ致します。

R財団寄付表彰

マルチプル ポールハリスフェロー
5回目・齋藤栄作会員
1回目・馬路宏樹会員・田中快枝会員
後藤健会員
ポールハリスフェロー 菅野茂実会員

❀会長の時間❀

宮崎正文会長



本日は、普通の例会時に、昨年7月以来に久しぶりのメイキャップとして東京紀尾井町RCの浅見亨様ご来場くださりました。90人もいるクラブからのメイキャップですので、会長の時間を話すのはとても緊張いたしますが、宜しくお願いいたします。

1月も半ばを過ぎ、20日には「大寒」を迎えました。本来なら寒くなくてはいけいのに、すごく温かく、天気予報では3月の気候だと言っております。これでは早く桜も開花しそうですね。昨年は4月に入ってから咲いたと思ったのですが。今年はどうでしょうか。

アメリカでトランプ大統領が第47代大統領に就任しました。演説の中で、「アメリカの黄金時代」が始まり、この日から再び繁栄するだろう、そしてアメリカ第一主義と言っています。いろいろ大統領令に署名すると言っていますが、今後どうなることかニュースを見ていきたいと思ひます。日本の政治もどうなることでしょうか。

ロータリーの基本として、政治のことは関わらないことにしていますが、仕事のうえでは心配事が沢山あります。自民党が少数与党になり、野党の意見を聞かなければ予算が成立しないこととなります。でもこれが本当の政治だと思ひます。今までは、自公連立で過半数を維持して予算等を独占していましたが、これからは民主主義の中で色々議論がなされて、世の中が良くなるのを期待します。

入間市が来年市制施行 60 周年だそうです。ロータリーで何かやればと思います、思いつかないので次年度晝間エレクトにお任せいたします。

今回はロータリーの用語や役職について、話したいと思います。カタカナで難しい用語が多々あると思います。入会したての頃は、エレクトとかノミニーとかガバナーとか、知らない言葉が多く見受けられ、少しお話ししたいと思います。

まずはガバナーとは、各地区におられますよね、当地区では第 2570 地区ですが、2024-25 年度は「五十幡和彦ガバナー」です。その地区ガバナーとは、地区のクラブによって指名(ノミネート)され、R I (国際ロータリー) の国際大会において選挙 (エレクト) された R I の管理役員のこと、監督者又は父親という意味もあるそうです。ガバナーに就任する二年前にガバナーノミニーという肩書きを担うそうです。ノミニーとは英語の単語で、公式に指名された候補者や推薦者という意味だそうです。ようは、カバナーの候補者ということですね。そして、ガバナーに就任する前々年度の国際大会で選挙され、カバナーエレクト (次期ガバナー) となります。そして国際協議会で研修を経た後、7 月にガバナーとして就任し、それから 1 年間地区ガバナーの役目を果たします。ガバナーの仕事は、地区を代表して各クラブを統率し、「クラブ間、クラブと R I の間の良好な関係を促進する」「地区大会を主宰する」「年に 1 回の公式訪問を行い、個々のクラブで卓話を行う」「クラブ会長・幹事に月信を発行する」など、地区のリーダーとして活動しています。ガバナーになるには、クラブ会長の経験者であることのほかに、多くの細かい条件があるそうです。

例えば、国際協議会に全期間の出席や、通算 7 年以上の正会員であることが必要みたいです。そして、ガバナーの任期を終了したら、パストガバナーと呼ばれ、ずーといろいろな役目をするそうです。水村パストガバナーを見ていると、大変忙しそうです。

もう一つ「ガバナー補佐」という役職があります。これは 1996 年の R I 理事会で決定された役職で、その地区から任命され、指定されたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責務を負います。そしてガ

バナーの役割を分担する形で、クラブと地区を結びつける大切な役割を担っています。仕事としては、「担当クラブを定期的に訪問する」「クラブの現状をガバナーに報告する」「会員の声を聞き、情報やアドバイスを提供してクラブを成功へ導く」などがあります。ちなみに今年度の第 2570 地区第 3 グループガバナー補佐は、所沢 RC の倉片順司さんです。

そして、過去には入間クラブから細淵会員や齋藤栄作会員も就任されました。

まず、ガバナーと名の付く役職は、はたから見ると大変なことだと思います。公式訪問では、毎回各クラブへ行かなくてはならないし、別の会合もたくさんあると聞いております。暇とお金がなくては務まらないと思いますので、自分では無理と思います。入間よりどなたか就任してくれたらなと思っています。

それと昨年、年次総会で「デジグネート」という言葉が出ました。これも良くわからなかったです。調べたら、「指名する」「指定する」「任命する」「示す」とありました。ようは、次々年度の会長に指名されたという意味なんですね。いろいろと難しいです。

また、次回にロータリーの用語や役職などを話したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

この後の卓話は、「入間市の文化遺産をいかす会」副会長の宮越喜彦様で、「まちづくりとしての文化遺産の保全と活用」という卓話です。またご同行している平田和雄様は、自分と家が近く、昔から知っている方です。ちなみに、この「入間市の文化遺産をいかす会」の会長は、元入間クラブのバストガバナー石川嘉彦さんです。

どのようなお話をされるのか、楽しみにしております、よろしくお願いいたします。

＜幹事報告＞

田中快枝幹事

1. 会長幹事会において会員増強について報告 入間増減なし 6 月までに 2 名増強よろしくお祈いします
2. 2/18 IM 所沢ミューズ 14:00 点鐘



●委員長報告

[親睦活動委員会]

菅野茂実委員長

来週の新年会は「魚いち」にて午後6時半より行います。ご参加よろしくお願ひ致します。



[ロータリー美術館]

豊田義継館長

今年は春が早いと聞いています。3月の広尾の山種美術館では桜の競演と題した「美術館でお花見」でちょうど桜が咲くかと期待しています。鑑賞後はミュージアムカフェで和菓子とお茶を楽しんでください。帰りは川越の「山屋」で食事となっています。奥様方のご参加もお待ちしています。宜しくお願ひします。



<ニコニコBOX>

細淵克則SAA

✿ 東京紀尾井町RC浅見亨様

ルーツが入間です。宜しくお願ひします。

✿ 宮崎正文君, 晝間和弘君, 田中快枝君, 細淵克則君, 新井格君, 駒形一人君, 吉沢誠十君

入間市の文化遺産をいかす会、宮越義彦様、平田和雄様、卓話宜しくお願ひ致します。東京紀尾井町RC浅見亨様ようこそ入間RCへ

本日¥18,000 累計¥520,000

<出席報告>

駒形一人委員長

会員数	出席数	出席率	修正率
38名	27名	77.0%	-----

事前欠席連絡4名

■回覧、配布物

- ① いるまフードパントリー茶いりど
- ② 12月フードバンクいるま活動報告
- ③ 3/13日帰り美術館出欠表
- ④ 第28回入間ケーブルテレビ杯
ゴルフ大会参加のお願い
- ⑤ プログラム1, 2, 3月
- ⑥ 2/27雪見例会(西山荘)出欠席表
- ⑦ 他ロータリー週報とお知らせ+
- ⑧ 本日の卓話資料
- ⑨ 週報26号

■■■講師卓話■■■

街づくりとしての文化遺産の保全と活用

宮越義彦様



「入間市の文化遺産をいかす会は、埼玉県入間市に残る文化遺産に興味関心のある有志を中心に2011年3月に発足しました。その目的は、国道16号線の拡張工事により、武蔵豊岡

教会の建て替え計画が進んでいた時期で、この教会を町の貴重な文化遺産として保存しようとする考えを多くの皆さんと共有し、計画の方向性を変えるきっかけを提供する事でした。結果的に、多くの支援を得て、教会の礼拝堂を残したまま、改修する計画が採用されました。

私たちの住む入間市は、北に入間川と加治丘陵、南に狭山丘陵に囲まれ、茶畑が広がる緑豊かな住宅地です。歴史的には狭山茶はその主産地として現在にも引き継がれ、かつては石川組製糸(生糸)や平仙レースなどの繊維産業で知られてきました。市域には航空自衛隊入間基地がありますが、戦後米国による統治時代にはジョンソン基地として米国軍人たちの生活や異国文化が身近に存在していたこともありました。

明治、大正、昭和、平成と時代の変遷とともに、残念ながら市内から消えていったものは多くありますが、一方で今なお使い続けられ、あるいは住み続けられている地域の文化遺産とも言えるものも残っています。私たちは、入間市内に残るそれらの文化遺産を掘り起し、調べ、知ることによって、その価値が現代にあっても色褪せることなく、活用しながら次代に受け継いでいきたいと考えています。会の活動はホームページや会報などで発表し、まち歩きや講演会、生涯学習フェスティバルなどの活動展示などを通じて、多くの市民や団体の皆さんと入間市の文化遺産をいかしていくことへの意識を共有したいと考えています。

現在は、豊岡地区の黒須周辺地域やそこに残る建築群を主な対象とした活動を行っており、2012年度には、入間市市民提案型協働事業を採択し「こけーらマップ黒須」など形に残る成果も上げてきました。

その後にも協働事業によって活動範囲も扇町屋やジョンソン基地時代に関わることなど、入間市の文化遺産や記憶遺産を学び、知る企画を実施してまいりました。活動は継続中です。多くの皆様の参加をお待ちしています

文化遺産の保存と活用の課題

- ◎市所有管理の建物は課題はあっても「残る」ことに対する危機感は少ない。
- ◎民間所有の建物の状況・課題・・・解決は簡単ではない。智恵と工夫が必要

現在事業展開が行われておらず、建物維持と活用の工夫が必要。地域や行政との連携による活用策の模索の急務。登録文化財登録して建物価値の向上を目指し、活用。維持費を支える仕組みづくり。

現在、旧黒須銀行の改修工事が行われている。工期約2年 西洋館と共に黒須地区の文化遺産、まちづくりの核としての役割を担えるか。「クロスプロジェクト」を掲げての展開は期待したい。一方で行政まかせだけでは、明日また一つ文化遺産が消えてしまう・・・のでは？ 一番の担い手は市民でありたいのだが・・・

現状を知り、確認し、誇りある町としての再構築をみんなで目指しませんか。



いかす会の活動地域に残る
文化遺産・記憶遺産



文化遺産をいかした活動

ぴかぴか泥だんご教室

改修工事を行う旧黒須銀行をまちづくりの拠点施設として活用していこうという入間市博物館アリの提唱するクロスプロジェクトを契機に、当会としても身近に残る文化遺産をいかす活動として、土蔵の左官技術を楽しみながら体験できるピカピカ泥だんごづくりを2023年5月の「くろぎんまつり」で試みました。

黒須地区には旧黒須銀行の他にも何棟かの土蔵は見るができます。特に3階建て



の繭蔵であった楽蔵は旧石川組製糸との関連で建てられており、地元の歴史との関連性の高いものです。また、3階建てで150坪を超える規模も土蔵としては特徴的です。左官材料の粘土やシックイを使ったピカピカ泥だんごづくりは、そのもの自体が楽しく、2時間ほどの作業時間を要しても完成した泥だんごの光沢や色合いなどが参加者の喜びに変わっていき、人気のワークショップとなっていました。「磨き」という左官技術を体験することで、土壁やシックイ塗りなどを身近に感じてもらうことが文化遺産への意識のきっかけとなってもらえれば幸いです。ものづくりの楽しさ、土やシックイに手で触れる感触、出来上がるまでに掛ける時間とその結果のピカピカの達成感の良い刺激になること間違いなしと思います。これまで、旧黒須銀行の裏庭や楽蔵、あるいは西山荘ストリートなどでピカピカ泥だんご教室を行いました。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12：30～13：30 ■会報委員長：吉田 勉

